

2003年09月03日制定
2021年05月13日改定

避難安全性能評価 申請図書作成要領

— 目 次 —

§ 1. 申請図書一覧	．．．．．	1
§ 2. 性能評価用提出図書 作成要領	．．．．．	2
§ 3. 追加検討資料 作成要領	．．．．．	9

株式会社 都市居住評価センター
性能評価・試験事業部

§ 1. 申請図書一覧

性能評価の申請から性能評価完了後までの間に、以下に示す図書をご提出頂きます。

避難安全性能評価 申請図書一覧

申請図書の種類 目的、提出時期、提出部数、作成要領	性能評価申請書	性能評価用提出図書		・追加検討項目一覧表 ・指摘事項回答書 ・追加検討資料を含めた性能評価用提出図書		最終保存図書 (参考)	
目的	申込み	委員会(受付時)		部会	委員会(報告時)	保管	
提出時期	申込み時 1週間前にデータで 当日に原紙	委員会(受付時) 開催前日の 午前中まで		部会開催日の 開催時刻まで	委員会(報告時) 開催前日の 午前中まで	大臣認定書受領後 2週間を目途に	
提出部数	1部	*1 3部	資料データ 一式	*1 3部	*1 3部	資料データ 一式	*2 必要部数
作成要領 又は書式	*3 「避難安全性能評価 申請書」	*3 「避難安全性能評価 業務方法書」 及び 本要領 §2参照		本要領 §3参照		*3 「最終保存図書作成要領」 参照	

*1 : 原則3部としますが、必要に応じて追加をお願いします。

*2 : 提出された最終保存図書については、確認印を押印後、必要部数を申請者に返却いたします。なおUHEC保管用はデータのみとします。

*3 : UHECホームページに掲載しております。

§ 2. 性能評価用提出図書 作成要領

■申請時には、以下の体裁で性能評価用提出図書を作成してください。

- ・ A3サイズ、左クリップ止め、又は、左ホッチキス止め
- ・ 表紙には、件名、申請年月日（委員会（受付時）の日付）、申請者名（会社名）、設計者名（会社名）を明記してください。
- ・ フルペーパー及び電子データにおいて、通しページを振って下さい。

■性能評価用提出図書の内容は、以下の事項を含むものとしてください。

- (1) 性能評価申請書
- (2) 建築計画の概要を記載した図書
- (3) 建築設備計画の概要を記載した図書
- (4) 避難安全性能に係る計画の概要を記載した図書
- (5) 建築設計図書（平面図、立面図、断面図及び建築物の各部分の詳細図）
- (6) 避難上安全性能を検証するための計算書
原則として、下記に示す計算書とする。
 - 1) 可燃物量の計算書
 - 2) 在館者（在室者）数の計算書
 - 3) 避難行動時間予測計算書
 - ① 避難開始時間
 - ② 直通階段又は地上までの移動時間
 - 4) 煙等の流動性状予測計算書
 - ① 煙等の発生量
 - ② 有効排煙量
 - ③ 避難上支障のある煙等が避難上支障のある高さまで降下する時間
- (7) 上記の計算に用いたデータ等の根拠となる資料（試験成績書、調査報告書、その他）
- (8) その他避難安全性能を評価するために必要な事項を記載した図書

■性能評価用提出図書の作成要領を、次ページ以降に示します。

（改訂履歴）

2003年09月03日制定
2006年10月01日改定
2010年09月07日改定
2016年06月01日改定
2021年05月13日改定

章	目次		必要記載事項	備考	
1	建築物の概要	1.1	建築物概要	・建物名称／建物規模／構造種別etc ・避難安全性能に該当する理由	様式「建築物概要」に従い記入 令第112条／令第119条／令第120条／令第123条／令第124条／ 令第125条／令第126条／令第129条
			1.2	付近案内図	・付近案内図 (S=1/10,000程度)
		1.3	建築計画概要	・配置計画	建築物の計画上の特色(敷地計画、隣接建物の状況)等を文章で記載
				・断面計画	階毎の主な用途を表で明示(小規模の場合は省略してよい)
		1.4	建築図概要	・平面図(防火・防煙区画図)	平面図は、1階平面図(配置図兼)・基準階平面図等を示し、防火・防煙区画図を兼ねても良い。断面図、立面図についても代表的な図面(建物の概要が分かる程度)のみを示す。
				・断面図 ・立面図	
1.5	設備計画概要	・防災設備機器一覧表	防災設備は明示、他は適宜記載		
2	防災計画の概要	2.1	防災計画上の特徴	・防災計画の基本方針 ・避難階の位置	
			2.2	防災計画の概要	・配置図
		・防火区画図、防煙区画図			
		・避難経路図 ・防災設備の概要 ・その他			管理・運営方針について記載、巻末補足資料として明記しても良い。 その他必要事項を記載
3	避難安全性能検証	3.1	評価項目一覧	・ルートC申請を行う理由 ・評価項目一覧	様式「評価項目一覧表」に従い記入
			2.2	避難計画の方針	・火災室の設定方法
		1) 可燃物量の設定方法			固定・収納可燃物量の設定方法を明記
		・在館者の設定方法			告示第510号・第511号／調査結果etc
		・避難行動の予測方法			
		1) 避難開始時間			告示第510号・第511号／調査結果etc
		2) 避難行動時間			
		3) 算定結果、まとめ			
		・煙等の流動性状の予測方法			告示第510号・第511号／計算方法etc
		1) 各室での煙等の発生量の予測	各室の設定条件と検証方法を記載		
2) 煙等の流動性状の予測	検証方法の明記、排煙設備のある場合、有効排煙量の妥当性等を記載				
3) 算定結果、まとめ					
・排煙設備の構造	有効排煙量の妥当性				

避難安全性能評価用提出図書 一目次及び必要記載事項一

SH - 避 - A05

章	目次	必要記載事項	備考
4	まとめ(検証結果一覧)	・検証結果一覧	まとめ方によっては3章に含めても良い
5	補足資料	・管理・運営	原則として2章に含めるべきものだが、ボリュームが大きい場合には別章に分けても良い
6	避難安全計算書	・避難時間の算定 ・煙等降下時間の算定	入力値などの詳細データ及び計算過程などがわかる一覧表。 告示第510号、511号による部分設定条件等がわかるように作成。 原則として3章にまとめるべきものだが、ボリュームが大きくなるような場合は、詳細データを別章に抜き出し、3章は結果のみの表示として良い。

注) この目次構成は、参考例であり、設計者の判断により構成を組み替えても良い

別添（階避難安全性能に係る構造方法）

1) 建築物概要

性能評価番号		UHEC評価-避		性能評価年月日		年 月 日		
建築物名称								
申請者								
設計者	一般							
	構造							
	監理							
施工者								
建築物概要	建築場所							
		地域・地区						
		用途						
	面積	敷地面積	m ²					
		建築面積	m ²					
		延べ面積	m ²					
		各階床面積	階数	床面積	階数	床面積		
			階	m ²	階	m ²		
			階	m ²	階	m ²		
			階	m ²	階	m ²		
階			m ²	階	m ²			
階	m ²		階	m ²				
階	m ²		階	m ²				
階	m ²	階	m ²					
階数	地上	階						
	地下	階						
	塔屋	階						
高さ	軒高さ	m						
	最高高さ	m						
	基準階階高	m						
	1階階高	m						
	地階階高	m						
階避難適用部分		階 ~ 階						

別添（全館避難安全性能に係る構造方法）

1) 建築物概要

性能評価番号		UHEC評価-避		性能評価年月日		年 月 日		
建築物名称								
申請者								
設計者	一般							
	構造							
	監理							
施工者								
建築物概要	建築場所							
	地域・地区							
	用途							
	面積	敷地面積	m ²					
		建築面積	m ²					
		延べ面積	m ²					
		各階床面積	階数	床面積	階数	床面積		
			階	m ²	階	m ²		
			階	m ²	階	m ²		
			階	m ²	階	m ²		
階			m ²	階	m ²			
階	m ²		階	m ²				
階	m ²		階	m ²				
階	m ²	階	m ²					
階数	地上	階						
	地下	階						
	塔屋	階						
高さ	軒高さ	m						
	最高高さ	m						
	基準階階高	m						
	1階階高	m						
	地階階高	m						

評価項目一覧表（階避難：建築基準法施行令第129条第1項の認定に係わる）

基準 (令第129条第2項)	適用しない規定		規定を適用しない建築物の部分	計画内容	検討事項	該当ページ
	条文	項目				
<p>前項の「階避難安全性能」とは、当該階のいずれの室（火災の発生のおそれの少ないものとして国土交通大臣が定める室を除く。以下この条及び次条において「火災室」という。）で火災が発生した場合においても、当該階に存する者（当該階を通らなければ避難することができない者を含む。以下この条において「階に存する者」という。）のすべてが当該階から直通階段（避難階又は地上に通ずるものに限り、避難階にあっては地上。以下この条において同じ。）の1までの避難を終了するまでの間、当該階の各居室及び各居室から直通階段に通ずる主たる廊下その他の建築物の部分において、避難上支障のある高さまで煙又はガスが降下しないものであること。</p>						

評価項目一覧表（全館避難：建築基準法施行令第129条の2第1項の認定に係わる）

基準 (令第129条の2第2項)	適用しない規定		規定を適用しない建築物の部分	計画内容	検討事項	該当ページ
	条文	項目				
<p>前項の「全館避難安全性能」とは、当該建築物のいずれの火災室（火災の発生のおそれの少ないものとして国土交通大臣が定める室を除く。）で火災が発生した場合においても、当該建築物に存するもの（以下この条において「在館者」という。）のすべてが当該建築物の各居室から地上に通ずる主たる廊下、階段その他建築物の部分において、避難上支障のある高さまで煙又はガスが降下しないものであることとする。</p>						

§ 3. 追加検討資料 作成要領

以下の項目についてA4版で一冊にまとめて下さい。

1. 追加検討項目一覧表（下記の書式例を参考にA4横使いにて作成して下さい。）
2. 追加検討資料
3. 訂正事項（申請時の性能評価用提出図書からの訂正箇所が分かるようにして下さい。）
4. 指摘事項回答書（委員会、部会）

追加検討項目一覧表（書式例）

検討項目	検討内容	検討結果	変更内容	ページ

作成日	平成 年 月 日
-----	----------

指 摘 事 項 回 答 書

委員会・部会 第 回	日 時	年 月 日 時 分 ~ 時 分	場 所		出 席 者	評 価 員 職 担 当 申 請 者	
件 名						申 請 者	
提 出 資 料							
指摘及び検討事項（質問等も含む）			回答及び処置			該当ページ	

☆記載例

指 摘 事 項

委員会の場合は
 ●●委員長 以下全出席委員
 (専門委員も含む) の名前を記載

委員会・ <input checked="" type="radio"/> 部会	日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日	場		出	評	<input checked="" type="checkbox"/> 委員
第 1 回	時	13時30分 ~ 15時30分	所			席	<input type="checkbox"/> 専門委員
件名	△△△△ビル				者	職担	
						申請者	<input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 事務所
提出資料	1-0 委員会指摘事項回答書 1-1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> に関する追加検討資料 1-2 〇〇〇〇に関する追加検討資料				会社名及び出席者の氏名		

指摘及び検討事項 (質問等も含む)	回答及び処置	該当ページ
1		追加資料 2-2 P53
2		設計概要書

箇条書きではなく、
 具体的に文章 (ですます調) で
 ご記入ください。
 質問者の氏名は不要です。

回答は全ての検討事項等
 に対して具体的にご記入下さい。

どの資料のどこを見れば
 よいか、わかるように
 ご記入ください。

次回の部会までに指摘事項回答書をまとめて
 3部ご提出ください (担当員の人数により提出部数は変更になる場合があります)。
 また、指摘事項回答書は部会にて担当の委員
 が確認させていただきます。
 指摘事項回答書は、委員会 (報告時) 及び最終
 版図書にも提出して頂きます。